

「これから必要とされるステインの色彩コントロールと再現法の基本」

黒田貴代江

「プレスセラミックス」「CAD/CAM」の普及、そしてマテリアル強度を重視する為に複雑な色彩構造をなす天然歯牙の再現を、レアリング製作ではなくステン単体のみで、且つリアルな補綴製作要求が増えてきました。

一見、レアリングよりステンでの製作は容易に思われますが、レアリング製作の「色彩構造層」と「透過光・反射光層」での再現とは大きく違い、ステン単体での製作とは「不透明/半透明色マテリアルベース」で「複雑な起伏曲面」に「錯覚彩色を施しながら透明に近づけるという、かなり難度のあるものです。

今回は基礎編として先ず、錯覚彩色を表現するにあたり習知していただきたい色についてお話しさせていただくと共に、皆さんに基本的な彩色表現テクニックのトレーニングをしていただきます。